

別表1 各年次到達目標

	内容	専攻医3年修了時 カリキュラムに示す	専攻医3年修了時 修了要件	専攻医2年修了時 経験目標	専攻医1年修了時 経験目標	**病歴要約提出数	
	総合内科Ⅰ(一般)	1	1*2	1		2	
	総合内科Ⅱ(高齢者)	1	1*2	1			
	総合内科Ⅲ(腫瘍)	1	1*2	1			
	消化器	9	5以上*1*2	5以上*1	5以上*1	3*1	
	循環器	10	5以上*1*2	5以上	5以上	3	
分野	内分泌	4	2以上*2	2以上	2以上	3*4	
	代謝	5	2以上*2	3以上	3以上		
	腎臓	7	2以上*2	4以上	4以上	2	
	呼吸器	8	2以上*2	4以上	4以上	3	
	血液	3	2以上*2	2以上		2	
	神経	9	2以上*2	5以上	5以上	2	
	アレルギー	2	2以上*2	1以上	1以上	1	
	膠原病	2	2以上*2	1以上		1	
	感染症	4	2以上*2	2以上	2以上	2	
	救急	4	4*2	4		2	
		外科紹介症例					2
		剖検症例					1
	合計*5	70疾患群	56疾患群 (任意選択を含む)	45疾患群 (任意選択を含む)	34疾患群	29症例 (外来は最大7)*3	
	症例数*5	200以上 (外来は最大20)	160以上 (外来は最大16)	120以上	100以上		

※1 消化器分野では「疾患群」の経験と「病歴要約」の提出のそれぞれにおいて、「消化管」、「肝臓」、「胆・膵」が含まれること。

※2 修了要件に示した分野の合計は41疾患群だが、他に異なる15疾患群の経験を加えて、合計56疾患群以上の経験とする。

※3 外来症例による病歴要約の提出を7例まで認める。(全て異なる疾患群での提出が必要)

※4 「内分泌」と「代謝」からはそれぞれ1症例ずつ以上の病歴要約を提出する。

例) 「内分泌」2例+「代謝」1例、「内分泌」1例+「代謝」2例

※5 初期臨床研修時の症例は、例外的に各専攻医プログラムの委員会が認める内容に限り、その登録が認められる。

※6 初期研修中に経験した症例について、内科専門研修の修了要件の最大5割(80症例)まで内科専門研修に取り入れることが認められる。

※7 病歴要約は、全29症例中14症例までを初期研修中に経験した症例で作成することが認められる。